

自然休養林情報

展望台杉歩道復活

白谷雲水峡内の原生林歩道沿い（奉行杉近く）に、訪れる人もなく、灌木に覆われ、ひっそり立っていた展望台杉（著名屋久杉の一つ）を、誰でも気軽に観察できるようにするために、周辺の歩道修理を実施していましたが、このほどようやく整備が完了し、展望台杉歩道が復活することとなりました。

この歩道は、奉行杉を起点とし、大きな切り株を廻り、展望台杉を経て、苔むした切り株・沢を見ながら再び原生林歩道に戻る、約200mの変化に富んだコースです。

展望台杉は、切り株更新による杉で、切り株をかえ込んでいるため根株はかなり大きくなっています。上部はごく平均的な樹高18m、胸高周囲4.9mの素性の良い屋久杉です。古くは、ここからの眺望も良く、この名が付いたものと思われる。

裏面に展望台杉歩道の位置図を掲載していますので、ぜひご利用ください。

新たな地域管理経営計画に基づく屋久島遺産地域の取扱いを説明

第九回 屋久島世界遺産地域連絡会議開催

二月二十六日、本年度第二回目の連絡会議が鹿児島市内で開催され、国有林の抜本的改革に伴い再編された地域管理経営計画の中で屋久島遺産地域の取扱いや、各機関の平成十年事業実施状況及び十一年度実施計画等について討議されました。

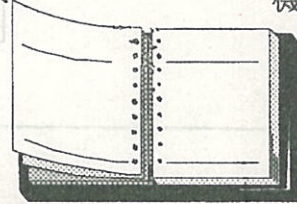
まず、甲斐調整官から「世界遺産京都会議」へのパネル出展協力のお礼と、パネル展盛会の報告がありました。

また、保全センターが現在取り組んでいる、縄文スギ樹勢回復措置の現状と今後の対策を説明し、関係機関に対して事業の理解を求めました。

熊本営林局からは、国有林野事業の抜本的改革に伴い再編された地域管理経営計画（管理経営方針を木材生産重

視から公益的機能重視へ転換）の中で屋久島遺産地域の取扱いについて説明があり、屋久島での森林空間利用や木材供給のあり方等について活発な意見交換が行われました。

この他、今後の世界遺産会議のスケジュールや、各機関の十年度事業実施状況及び十



一年度実施計画等について説明が行われ、世界遺産の適正な保全管理を推進していくことを確認しました。

縄文スギ樹勢回復 三月中旬実施予定

縄文スギの樹勢回復措置については、樹木医による調査を昨年十月に実施し、土壌サンプルを持ち帰り、発芽試験等を行ってききました。

その結果、縄文スギ周辺では、A0層の流出で優良微生物の発育が不良になり、土壌が酸性化しているため、土壌改良剤等により、土壌の中和とA0層の復元を図り、植生を回復させる措置が必要との調査結果が出ました。

この結果をもとに、今月中旬現地に試験地を設定し、縄文スギ樹勢回復のための最適条件を見出ししていきます。

屋久島営林署が「屋久島森林管理署」に名称変更

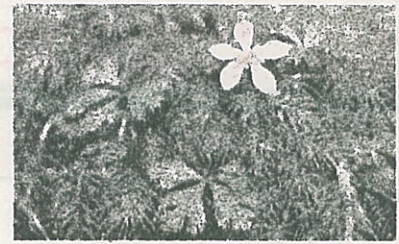
国有林の抜本的改革の一環として、昨年十二月に成立した「国有林野事業改革関連二法」による組織再編に伴い、三月一日から屋久島営林署の名称が、屋久島森林管理署に変更されました。

今後は、木材生産機能重視から公益的機能重視に、管理

経営の方向を転換することになります。

なお、同日屋久町安房公民館において、関係者多数出席のもと開所式が行われ、新たなスタートをきりました。

屋久島の植物



オオゴカヨウオウレン (きんぼうげ科)

屋久島の固有種で、標高六〇m以上の湿気の多い岩や樹皮についている。葉は羽状にさけており、一年中見られる。花は白色で直径八〜十mm、花びらは五枚が普通である。花期は二〜三月で、二月中旬から咲き始める。いま、白谷雲水峡の三本足杉付近で、白い可憐な花を咲かせている。

昨年は前半多雨型 平成十年雨量データ

保全センターが実施している雨量観測の、平成十年分データがまとまりましたので、裏面に地点別の雨量データと、平成九・十年月別平均雨量比較グラフを掲載します。

これを見てもみると、昨年は一月から雨量が多く、二月に千mmを超える雨量を白谷と小杉谷で観測するなど、平成九

お知らせ

九年度年報が完成

この程、平成九年度保全センター年報が完成しました。

この年報は、関係機関や研究者、及び特に希望される方々に配布予定です。

保全センターの動き

三月一日付

旧 自然遺産保全調整官

甲斐博文(九州森林管理局)

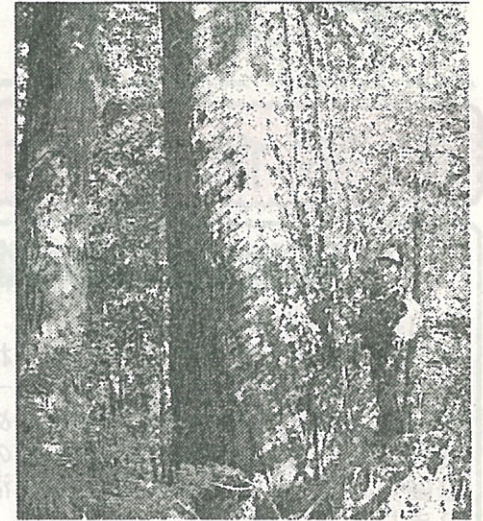
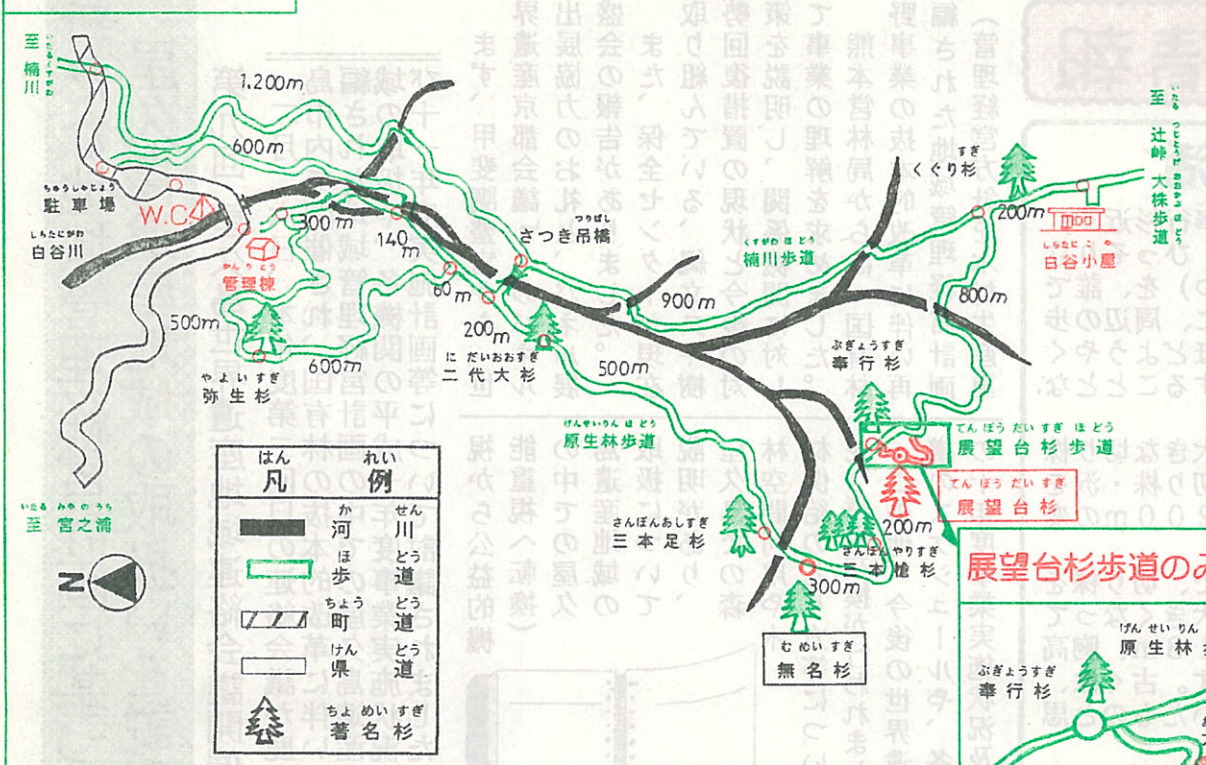
新 自然遺産保全調整官

空席

展望台杉および展望台杉歩道について

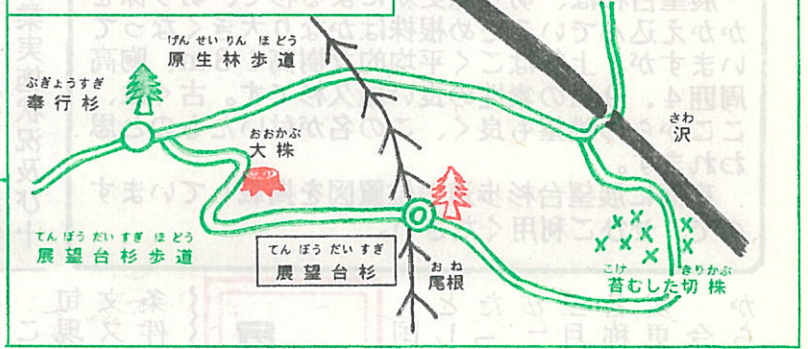
- 展望台杉：樹高18.0m、胸高周囲4.9m、標高830m
- 展望台杉および展望台杉歩道の位置（白谷雲水峡：原生林歩道沿い）

白谷雲水峡案内図



(灌木に覆われている展望台杉)

展望台杉歩道のみどころ



平成10年地点別雨量一覧表

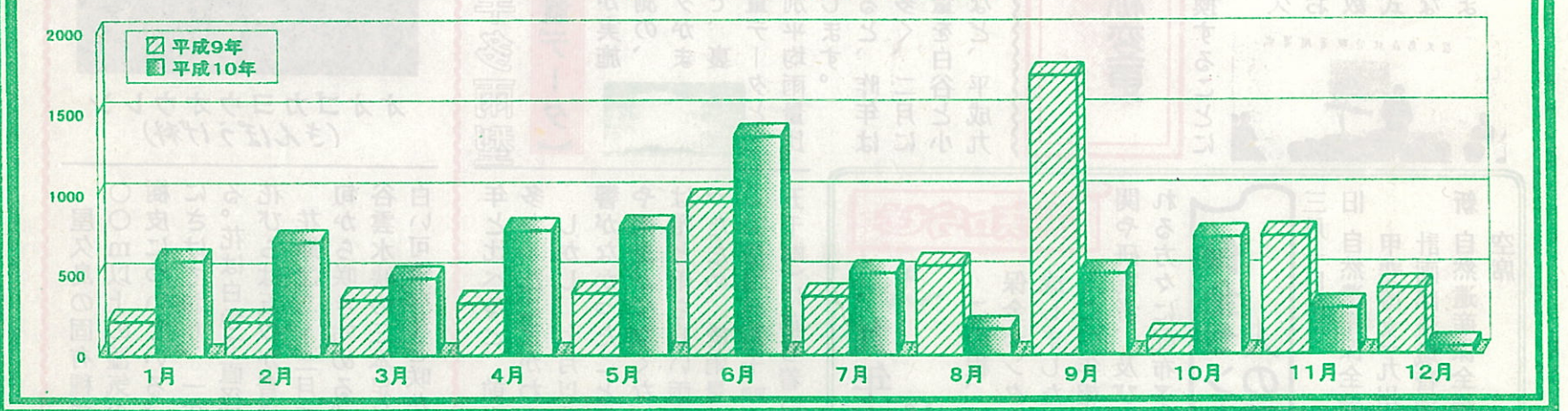
雨量計設置箇所	標高	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
保全センター	20m	500.5	466.0	430.5	447.5	488.5	792.5	337.0	121.5	341.5	513.0	195.5	74.5	4,708.5
宮之浦林道	510m	607.0	507.0	381.0	672.0	680.0	1281.5	464.5	100.0	560.5	699.0	202.5	64.5	6,219.5
白谷雲水峡入口	560m	694.0	1,097.5	586.0	681.0	696.5	1,088.5	427.0	88.5	468.0	1,071.0	692.5	86.5	7,677.0
小杉谷事業所跡	680m	704.5	1,301.5	662.0	859.5	882.0	1,362.5	522.0	74.0	574.5	1,112.0	350.5	41.0	8,446.0
大川林道終点	1,020m	475.5	241.5	349.0	814.0	775.5	1,523.5	706.5	344.5	539.0	459.5	135.0	30.5	6,394.0
淀川登山道入口	1,380m	798.5	897.0	579.5	1,197.0	1,200.0	2,076.0	14.0	192.5	562.0	856.5	273.5	24.0	8,670.5
黒味岳山頂付近	1,800m	360.5	457.5	372.5	791.5	822.0	1,374.0	600.0	234.5	—	443.5	176.0	29.0	5,661.0

※欠測

淀川登山道入口 平成10年 7月15日～8月6日

黒味岳山頂付近 平成10年 9月1日～10月2日

平成9・10年 月平均雨量比較



月平均値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成9年	214.4	215.1	348.8	324.7	385.3	954.4	366.9	558.0	1,733.4	110.8	740.5	412.4	6,364.7
平成10年	591.5	709.7	480.1	780.4	792.1	1,356.9	509.5	165.1	507.6	736.4	289.4	50.0	6,968.7

※この平均値には、雨量に影響すると思われる欠測のある月は含めない。